

令和6年度 保護者学校アンケート《付属中》結果のまとめ(「思う」と「やや思う」の割合)

令和6年12月21日実施

NO	質 問 項 目	R2	R3	R4	R5	R6	平均
A	学習指導が行き届いている。	93%	93%	76%	81%	86%	86%
B	生徒(生活)指導が行き届いている。	96%	90%	82%	84%	87%	88%
C	進路指導が熱心に行われている。	65%	61%	44%	45%	57%	54%
D	クラブ活動が活発である。	67%	67%	45%	54%	57%	58%
E	学校行事が盛んである。	58%	81%	69%	72%	93%	75%
F	子どもはよく挨拶をする。	91%	94%	74%	85%	77%	84%
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。	94%	94%	84%	93%	90%	91%
H	子どもは学習習慣が身についている。	61%	67%	66%	72%	73%	68%
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。	33%	32%	29%	45%	40%	36%
J	子どもは楽しく学校に登校している。	86%	94%	89%	85%	83%	87%
K	学校の施設・設備は整っている。	86%	90%	81%	51%	54%	72%
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。	97%	97%	95%	82%	93%	93%
M	学校のホームページは充実している。	88%	96%	79%	79%	80%	84%
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。	88%	87%	89%	82%	97%	89%
		79%	82%	72%	72%	76%	76%

学習指導に対する評価が昨年度の81%から86%に増加した。この結果は、学校が提供する教育が保護者から一層高く評価されていることを示している。特に、教師が生徒一人ひとりに対して丁寧かつ効果的な指導を行っている点が評価されていると考えられる。また、学習習慣の定着度についても、72%から73%にわずかに増加していることが確認された。これは、生徒が自主的に学習に取り組む姿勢が強化されていることを示唆している。学校と家庭が連携して生徒の学習環境を整え、学習習慣の定着を図る努力が実を結んでいると言える。全体として、学校が提供する教育と生徒の学習習慣が着実に向上していることを示している。今後もこれらの成果を維持し、さらに向上させるための取り組みを行っていきたい。

令和6年度 保護者学校アンケート《六年制》結果のまとめ(「思う」と「やや思う」の割合)

令和6年12月21日実施

NO	質 問 項 目	R2	R3	R4	R5	R6	平均
A	学習指導が行き届いている。	88%	100%	92%	88%	78%	89%
B	生徒(生活)指導が行き届いている。	97%	100%	85%	86%	84%	90%
C	進路指導が熱心に行われている。	91%	100%	87%	86%	75%	88%
D	クラブ活動が活発である。	82%	81%	65%	73%	70%	74%
E	学校行事が盛んである。	67%	82%	79%	81%	73%	76%
F	子どもはよく挨拶をする。	91%	94%	81%	76%	76%	84%
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。	88%	100%	82%	88%	83%	88%
H	子どもは学習習慣が身についている。	76%	94%	81%	75%	71%	79%
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。	50%	51%	47%	55%	46%	50%
J	子どもは楽しく学校に登校している。	91%	91%	87%	90%	89%	90%
K	学校の施設・設備は整っている。	85%	88%	76%	68%	57%	75%
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。	97%	100%	87%	88%	92%	93%
M	学校のホームページは充実している。	88%	93%	76%	61%	73%	78%
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。	86%	88%	92%	90%	87%	89%
		84%	90%	80%	79%	75%	82%

学習指導、生活指導、進路指導の各項目において評価が低下し、それぞれ過去5年間で最低の数値となった。具体的には、学習指導が行き届いていると感じている保護者の割合が昨年度の88%から78%に減少した。この結果は、学習指導において改善が必要な課題があることを示している。教員の指導方法の見直しや、生徒一人ひとりに対するサポートの充実が求められている。生活指導に関しても評価が下がっており、気がかりである。これは、生徒の生活態度や規律に関する指導の効果が低下していることを示唆している。生徒が安心して学べる環境を整えるために、生活指導の方法を再考し、改善する必要がある。さらに、進路指導においても、評価が86%から75%に減少した。これは、進路指導に対する保護者の期待に十分に答えられていないことを示している。現在、進路指導部を中心に生徒の進路選択を支援するための具体的な対策を検討中である。これらの改善策を通じて、学校全体の教育の質を向上させ、保護者の期待に応えることを目指したい。

令和6年度 保護者学校アンケート《普通科》結果のまとめ(「思う」と「やや思う」の割合)

令和6年12月21日実施

NO	質 問 項 目	R2	R3	R4	R5	R6	平均
A	学習指導が行き届いている。	82%	89%	66%	65%	64%	73%
B	生徒(生活)指導が行き届いている。	86%	88%	75%	76%	70%	79%
C	進路指導が熱心に行われている。	83%	93%	70%	75%	71%	78%
D	クラブ活動が活発である。	85%	86%	73%	77%	70%	78%
E	学校行事が盛んである。	79%	76%	58%	74%	76%	73%
F	子どもはよく挨拶をする。	86%	79%	68%	74%	65%	74%
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。	91%	92%	71%	80%	72%	81%
H	子どもは学習習慣が身についている。	52%	53%	51%	45%	41%	48%
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。	27%	25%	17%	22%	20%	22%
J	子どもは楽しく学校に登校している。	93%	82%	79%	84%	86%	85%
K	学校の施設・設備は整っている。	74%	75%	56%	55%	47%	61%
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。	79%	91%	75%	81%	80%	81%
M	学校のホームページは充実している。	81%	82%	58%	50%	64%	67%
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。	79%	73%	75%	88%	85%	80%
		77%	77%	64%	68%	65%	70%

学習指導に対する評価が64%となり、過去5年間で最低の数値となった。これは、学習指導において何らかの課題が生じている可能性を示唆している。教師が生徒一人ひとりに対する指導方法の見直しや改善が必要であると考えられる。また、生活指導に関しても評価が76%から70%に減少した。この結果は、生活指導の効果が低下していることを示しており、生徒の生活態度や規律に関する指導方法の再検討が必要とされている。これらの結果を踏まえ、今後、学習指導および生活指導の改善に向けて具体的な対策を講じることが重要であると考え。保護者や生徒からのフィードバックを積極的に取り入れ、教員の指導力向上や効果的な指導方法の導入を図ることで、評価の向上を目指していきたい。